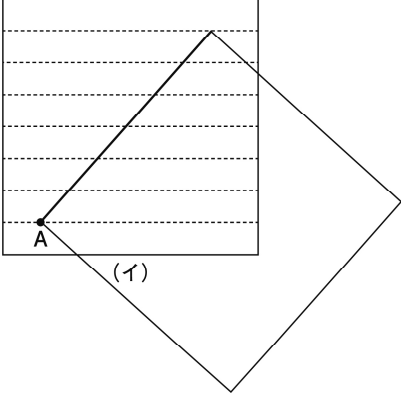


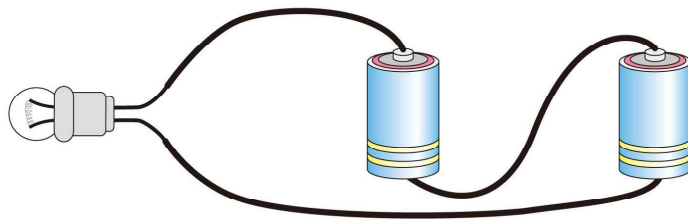
【平成27年度 適性検査Ⅰ 解答例】

研究1	課題1	(例) 急がば回れ
	課題2	(例) 今日、父が宝くじを買ってきました。夕食の後、父は宝くじが当たってもいないのに、当たったらどこに旅行に行こうかと、パンフレットを持ってきてながめていました。その様子を見ていた母は、 「とらぬたぬきの皮算用ね。」 と、言っていました。
研究2	課題1	(例) 
	課題2	(例) つくった短冊の枚数は、 $6 \times 35 = 210$ 210枚 みどりさんは3分間に12枚をつなぐので、1分間につなぐ枚数は、 $12 \div 3 = 4$ 4枚 あきらは2分15秒で12枚をつなぐので、1分間につなぐ枚数は、 $2\text{分}15\text{秒} = 2\frac{15}{60}\text{分} = 2\frac{1}{4}\text{分}$ $12 \div 2\frac{1}{4} = 12 \div \frac{9}{4} = \frac{16}{3}$ $\frac{16}{3}$枚 2人で1分間につなぐことができる枚数は、 $4 + \frac{16}{3} = \frac{12}{3} + \frac{16}{3} = \frac{28}{3}$ $\frac{28}{3}$枚 だから、210枚をつなぐのに必要な時間は、

		$210 \div \frac{28}{3} = \frac{210 \times 3}{28}$ $= \frac{45}{2}$ $= 22\frac{1}{2}$ <p>$\frac{1}{2}$ 分は30秒だから22分30秒になる。</p> <p>(22) 分 (30) 秒かかった。</p>
研究 3	課題 1	<p>(例)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; width: 80%;"> <p>(例)</p> <p>対馬海流 (暖流)</p> <p>日本海流 (黒潮)</p> <p>しま 千島海流 (親潮)</p> </div> <div style="width: 15%;"> <p>説明</p> <p>日本の太平洋側には、図のように暖流の日本海流と寒流の千島海流が流れていて、その海流にのり、あたたかい海にすむ魚と冷たい海にすむ魚の両方が宮城県近くの海域に集まってくるから。</p> </div> </div>
	課題 2	<p>(例)</p> <p>たまごから育てた魚を海に放流し、自然の中で大きくなったらとるさばい漁業を行う。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>(例)</p> <p>人工的に魚が生活する場所をつくったり、も場を回復させたりして、魚が育ちやすいかん境を整える。</p>
研究 4	課題 1	<p>(例)</p> <p>理由</p> <p>豆電球のフィラメントが切れているから。 豆電球がソケットにきっちり入っていないから。 導線がと中で切れているから。</p>

課題 2

(例)



課題 3

(例)

